ハンドマイク街頭演説原稿例　裏金隠しの党利党略に審判を

二〇二四年十月三日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、自民党の石破茂総裁が一日に内閣総理大臣に指名され、石破内閣が正式に発足しました。石破さんは国会で首相に指名される前に、今月九日に衆議院を解散し、十五日公示、二十七日投開票で総選挙を行うと表明しました。総理大臣になる前に解散を口にすることも前代未聞ですが、石破さんは総裁選では、「国民が判断できる材料を提供することは政府の責任であり、新総理の責任だ」とか、「本当のやりとりは予算委員会だと思っている」と発言し、すぐの衆議院解散には慎重な姿勢を示していました。総裁選の公約をすぐにひっくり返してしまう総理大臣では、今後何を発言しても国民は信用できなくなるのではないでしょうか。

　臨時国会の会期は九日間です。裏金事件や統一協会と自民党との組織的癒着の徹底解明、能登の地震・豪雨災害への支援のための補正予算の編成など、国会で審議すべき重要案件はたくさんあります。九日間の会期では予算委員会も開けず、十分な審議などできません。国会論戦を避け、裏金事件や統一協会の問題などの追及をのがれれば選挙に勝てる、という思惑からの早期解散だと言わざるを得ません。

　ところでみなさん、石破新内閣の閣僚や自民党役員には防衛大臣経験者が五人も就任しました。石破さん自身が「日米同盟を英米並みに引き上げることが私の使命だ」と発言し、核兵器の「共有」まで主張しています。安倍政権や岸田政権を越える、軍事同盟強化の布陣だと言わざるを得ません。

　また、岸田内閣の官房長官だった林芳正さんが官房長官に再任され、自民党総裁選挙で「アベノミクスを推進した精神が私にしみついている」とアピールした加藤勝信さんが財務大臣に就任しました。副総裁には菅元総理大臣が起用されました。石破内閣が安倍・菅・岸田の各内閣の政治を引き継ぐと、高らかに宣言するものです。安倍さんが進めた経済政策、アベノミクスによってもたらされた円安と物価高が今、国民を苦しめていることに何の反省もなく、国民にますます犠牲を押し付ける政治を続けるとの意思表明ではないでしょうか。

　みなさん。自民党の顔だけ変えても政治の中身はまったく変わらないことが、石破新内閣によってはっきりと示されました。しかも、党利党略での衆議院解散は、石破内閣が早くも行き詰まりに陥っていることを示しています。まもなく行われる総選挙では、悪政を続けようとする石破内閣に厳しい審判を下そうではありませんか。日本共産党は自民党政治を大本から変える対案を訴え、躍進を勝ちとる決意です。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）